「令和7年度 「（仮称）青葉通エリア空間構想」策定支援業務委託」に係る公募型プロポーザルの質問回答

	質問	回答
1	<p>■募集要項 3(1)参加資格① 現在履行中（未完了）の業務も実績としてお認めいただけますでしょうか。</p>	<p>業務が完了しているもののみを実績として認めます。</p>
2	<p>■募集要項 3(5)技術提案書の提出等 10部提出する企業名なしの技術提案書には再委託先の企業名も記載しない方がよろしいでしょうか。</p>	<p>再委託先の企業名についても記載しないようお願いいたします。</p>
3	<p>■募集要項 様式7「総括責任者・担当技術者体制」 担当技術者として再委託先に所属する者を記載することは可能でしょうか。記載することが可能な場合、再委託先に所属する者の「所属・役職」欄に再委託先の企業名を記載すべきかどうかについてもご教示ください。</p>	<p>再委託先に所属する者を担当技術者とすることは認められません。</p>
4	<p>■募集要項 3(4)参加表明書の提出 複数社による共同提案を行う場合の共同体協定書の所定様式はありますか。ない場合は任意様式でよろしいでしょうか。</p>	<p>共同提案の場合における「共同体協定書」の所定様式はございません。なお、参加表明書の提出時点では、様式第5号「構成員一覧表」をご提出ください。</p>
5	<p>■仕様書 II 4(2)WGの企画・運営 「(2) WGの企画・運営」の「図 検討フローのイメージ」には、検討WG（②議論）が3回程度と記載されていますが、本業務ではあり方検討協議会・まちづくり協議会への全体説明の前に5回の実施を想定している認識でよろしいでしょうか。もしくは、WGを3回実施した後、あり方検討協議会・まちづくり協議会への全体説明を行い、フィードバック結果を踏まえ、再度WGを2回実施する想定でしょうか。</p>	<p>「図 検討フローのイメージ」では、各検討項目（例：コンセプトや空間像（情景））に対して、WGにおける議論をおおむね3回程度実施することを示しており、本業務では計5回のWGを実施することを予定しています。（受託者決定前のWGについては、発注者が直営で実施します。受託者は、受託以降の5回について企画・運営を行うものです。） 検討項目ごとに、WGで議論を行った後、あり方検討協議会・まちづくり協議会において全体説明を行い、その意見を反映したうえで、当該検討項目の検討を完了し、次の検討項目へ移行する流れとなります。</p>
6	<p>■仕様書 II 4(4)「空間構想」の原稿データ作成 「(4)「空間構想」の原稿データ作成」は、word形式での原稿案作成との認識で相違ないでしょうか。また、公表を想定した表紙及びレイアウトのデザイン案作成までは含まない認識で相違ないでしょうか。</p>	<p>word形式での原稿案作成との認識で相違ございません。また、表紙及びレイアウトのデザイン案作成は含めません。</p>
7	<p>■仕様書 II 4(1)②コンセプトの検討および発信における「見せる化」 イラスト3点は後継業務のパスや鳥瞰図と区別されるが、どの程度の精度・完成度を求めているか。またキャッチコピー作成において、市として「英語併記」「国際訴求」などを重視するのか、市民向けのわかりやすさを優先するのか。</p>	<p>イラストについては、完成後に広く市民や関係者へ周知・発信する資料等に活用することを想定しております。したがって、青葉通エリアにおいて目指す情景（人々のアクティビティ、目指す空間像）をイメージできる精度・完成度を求めています（歩行者空間等の空間構成要素の具体化は不要）。 また、キャッチコピーの作成にあたっては、民間事業者や地権者の開発投資意欲を喚起するとともに、市民の関心を高められるような効果的なものを求めています。</p>
8	<p>■仕様書 II 4(3)情報発信手法の企画・提案 情報発信は「ワークショップやシンポジウムなどの手法」を想定とありますが、開催規模（想定参加数・時間）は具体的に想定はありますか。</p>	<p>開催規模（参加人数・時間）についての具体的な想定はありません。ワークショップやシンポジウム等の開催にあたっては、効果的な情報発信につながるよう企画・提案いただくことを求めています。</p>

9	<p>■仕様書 III2成果品等の帰属</p> <p>成果品等の著作権は市に譲渡するとありますが、提案段階で提示するロゴ・キャッチコピー・イラストの著作権帰属も同様に市に譲渡されるのでしょうか。それとも契約締結後に制作したもののみでしょうか。</p>	<p>契約締結後の検討における成果のみ、その著作権が市に帰属されるものです。</p>
10	<p>■仕様書 II4(2) WGの企画・運営</p> <p>WG構成員は「12名程度・無報酬」とあるが、発注者が想定している必須属性（地権者、商店街、事業者等）の比率や内訳はあるか。また、招聘を想定する専門家について、市が特に期待する分野（都市計画、交通、景観、マーケティング等）はあるか。</p>	<p>WG構成員はすでに確定しており、地元まちづくり団体や青葉通沿道の地権者、商店街関係者、開発事業者、商業者、商工関係者、メディアにより構成されています。</p> <p>また、専門家につきましては、WGの企画内容を加味するとともに、WGメンバーの理解促進や参画意欲の向上、議論の活性化につながる効果的な候補者についてご提案ください。</p>
11	<p>■募集要項 3(5)技術提案書の提出等</p> <p>他都市の事例等も適宜盛り込みながら具体性と説得力のある内容を記載すること」とありますが、他都市の事例は参加者の実績でなくてもよろしいでしょうか？</p>	<p>参加者の実績でなくても構いません。</p>
12	<p>■募集要項 3(5)技術提案書の提出等</p> <p>「b. WGへ派遣を予定する専門家候補について提案すること。」とありますが、議題との関連性の観点で、先行で仙台市にて実施するWG（9・10月）の議題をお教えてください。</p>	<p>現時点で下記の議題を予定しています。</p> <p>9月：青葉通の強みや弱みについて</p> <p>10月：現状分析、つくりたい価値について</p>
13	<p>■仕様書 II 5 打合せ及び協議</p> <p>「発注者との打合せは初回、中間5回、最終の合計7回を予定し、業務着手時及び成果品納入時の打合せには、管理技術者が立ち会うものとする。」とありますが、オンライン会議などの併用は可能でしょうか？リアルに限りますでしょうか？また、中間5回の内容に関してはWGの内容摺合せのイメージでしょうか？</p>	<p>打合せについては、オンライン会議の併用を可能とします。</p> <p>なお、打合せの内容については、事業の進捗により決定するものとなります。</p>
14	<p>■募集要項 3(1)参加資格①</p> <p>参加資格が「公共空間と民地が一体となった公共空間の創出や利活用方策の検討、関係者調整、情報発信などにより、地域価値を高めることを目指したまちづくりに関する実績を有していること。」とされていますが、実績として認められる業務は、「公共空間と民地が一体となった公共空間の創出」あるいは「公共空間の利活用方策の検討」あるいは「関係者調整」あるいは「情報発信」の内容を含み、地域価値を高めることを目指したまちづくりに関する実績、と解釈してもよろしいでしょうか？</p>	<p>公共空間と民地が一体となった公共空間の創出や利活用方策の検討により、地域価値を高めることを目指したまちづくりに関する実績を求めており、その手法として、関係者調整や情報発信などを想定しているものです。</p>